

No. 1585

# 輸入拡大を前に

—東京—

10月は輸入拡大月間。

輸入商品を売る催しが各地で行われています。

昭和66年度からか牛肉の輸入自由化が始まります。東京都食肉市場で開かれた「部分肉フェア」にもアメリカからの冷凍肉が販売され売れ行きも良いようです。しかし国内の畜産業者も生産コストを下げ、輸入肉に負けない牛肉づくりに頑張っています。会場では岐阜の飛騨牛も試食サービス。消費者にとって安くて美味しい「肉戦争」は大いに歓迎したいものです。

# 星野中日2年目で優勝

—名古屋—

優勝目前の星野中日ドラゴンズ。

10月6日、8回裏彦野の逆転2ランでヤクルトをやぶり自力優勝にあと1勝と迫りました。

翌10月7日ナゴヤ球場での対ヤクルト25回戦は、3万5000人のファンで超満員。

1回裏、昨夜に続く彦野のホームランのあと「優勝の喜びを味わいたい」と言っていた4番落合がギブソン投手から3ランホームナー。一挙に4得点を上げ、試合の流れを決めました。

守っては先発杉本投手につづいて鹿島、上原、鈴木孝政、近藤と、今期活躍した投手のリレーで8回を終わって11対3とヤクルトを圧倒。

最終回はセーブ記録日本新をつくった郭投手が登板。最後の打者泰を三振にうちとり、中日ドラゴンズは6年ぶり4度目の優勝を決めました。

そして星野監督の胴上げ。

ペナントレース前半は最下位に落ちた中日が、若手起用とベテランの奮起で7月後半一気に首位に立ち、2位に大差をつけての優勝。

星野監督は就任2年目で、そして戦後生まれの監督第一号優勝を飾りました。

14年ぶりの地元優勝、この勢いに乗って日本一を目指して欲しいものです。